

「続き」じゃないのに、「次」が待ち遠しい。

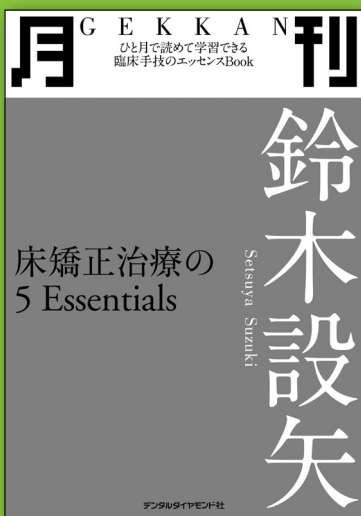
月刊 G E K K A N 刊

ひと月で読めて学習できる
臨床手技のエッセンス Book

床矯正治療の 5 Essentials

New

月刊
鈴木設矢
Setsubya Suzuki



矯正治療の「エコ」は
顔貌も改善する

床矯正治療は、可撤式矯正装置を用いた
保存的歯科治療で、一般臨床医の多くの
方が取り組んでいます。その治療を支える
5つの柱を、48頁にまとめました。

1. 治療対象は歯列だけではない
2. 抜歯を前提にするか、否か
3. 子どもを育み、食文化を導く
4. 早期治療が成功の決め手
5. 患者主導の治療である

導入の際のガイドとして、
本書をお役立てください。



A4判・48頁・オールカラー
本体3,000円＋税

詳しい情報はこちら→

CONTENTS

プロローグ 床矯正 温故知新

矯正治療の古きをたずねて新しきを学ぶ

❖ 歯科矯正の流れを変えた歴史的事件

海外の歯科矯正事情からの考察

床矯正治療の Essential ①

治療対象は歯列だけではない

❖ 不正咬合発症の原因と不正咬合がもたらすもの
❖ よりよい顔貌を作る ❖ 叢生が発症した原因 他

床矯正治療の Essential ②

抜歯を前提にするか、否か

❖ 歯列交換時期のstageにより治療の考え方が異なる
❖ 抜歯処置を選択するのか 拡大処置を選択するのか 他

床矯正治療の Essential ③

子どもを育み、食文化を導く

❖ 「味わう」ことを高める ❖ 食育の目的 ❖ 改善すべきこと 他

床矯正治療の Essential ④

早期治療が成功の決め手

床矯正治療の Essential ⑤

患者主導の治療である

❖ 咀嚼訓練の指導

Trouble & Recovery

こんなときどうする？

- ❖ 治療の途中で、装置を外したいと言われた
- ❖ 反対咬合で床は前方に移動しているが、被蓋関係が改善されない
- ❖ 歯列が整ったが、顔貌が改善しない ❖ 開咬
- ❖ 下顎の後退と過蓋咬合の早期治療
- ❖ 人為的に発症した前歯・臼歯の開咬

Column

- 日本における不正咬合の発生率と国民の関心
- 歯列と顔貌の関係 / 上顎骨育成には年齢的制約がある
- 上顎が出ているのか？ 下顎の後退か？